

平成30（2018）年度
東京大学大学院医学系研究科

医科学専攻

修士課程

入試案内

東京大学大学院医学系研究科 医科学専攻への誘い

本学医学系研究科・医科学専攻・修士課程は、大学での学部・専攻を問わず、広く医学の基礎的分野の研究者・教育者の養成を行い、基礎医学研究を先導する未来のリーダーとなる人材を修士・博士課程の合計6年間をかけて育成することを目的に、平成11年度に設立されました。現代の医学研究において医学以外のバックグラウンドを持つ研究者が果たす役割はきわめて大きく、医科学専攻の教授・スタッフにも医学部以外の学部出身者が数多く含まれています。医学系研究科には博士課程から入学することももちろん可能ですが、修士の段階から系統的に医学知識を身につけ、大きく発展して欲しいという期待のもとに医科学専攻修士課程は設置されました。幸いにも、これまで非常に優秀な人材が本専攻に集い、巣立った後も様々な医学研究領域で将来を嘱望される若手研究者として活躍しています。

本修士課程の特徴のひとつは、入学前に配属教室を決めておくことも、決めないで入学することもできるという柔軟性にあります。修士学生に対しては、医学系研究科、医学部全体の教官が協力して指導に当たります。配属教室を決めていない学生は、4月から7月にかけて医学各分野の講義と実習ならびに各研究室の内容の紹介を受けた後、8月までに配属を決めることとなります。このシステムにはいくつかの長所があります。一つは最初から各講座に割り振られず一緒に講義実習を受けることで、修士学生間に連帯感が生まれることです。学生は各教室に分かれた後も、お互いに生活や研究の交流を活発に続けることができます。これは博士課程からでは得難い貴重な絆です。第二に、学生も教師もお互いをより身近で理解することが出来、その分、納得のいく教室選びが可能となります。各研究室に配属後も、週一回は共通ゼミナールがありますし、希望すれば他の分野の実習も可能です。学年によってはコンパだけでなく、合宿旅行まで楽しんでいます。

現代の医科学、生命科学は多様性に富むと同時に奥深い領域です。分子構造・シグナル・発生などの基礎生物学から、病気の発症機序（病因）と治療、ゲノム医学、脳科学・予防医学などに至る幅広い分野をカバーしています。若いうちからあまり狭い研究領域に閉じこもるのは必ずしも賛成できません。研究分野を柔軟に変えうること、また、周辺領域の幅広い知識を身につけることが大切です。医科学専攻は学生を未来の宝だと考えています。セミナー、輪読会、共通講義や共通実習などで幅広い知識と、信頼しうる技術を身につけ、修士・博士の6年を終了した後に、どの様な分野に進むかを自らが決める自立した研究者になるための素地作りを誠心誠意サポートしたいと考えています。卒業後には、ポストドク、海外留学、研究職など多様な選択の道が拓かれます。

医科学修士課程は、生命現象への好奇心にあふれ、協調性を持ち、気力・体力の充実した学生を求めています。自分が「将来の基礎医学を背負って立つ」姿を想像してみてください。そんな未来に魅せられる自分を見出すことができたならば、本修士課程に是非応募してください。

平成30年度医科学専攻修士課程入学者選抜の実施方法について

平成30年度入学者の選抜を下記により実施します。出願に際して充分注意してください。

記

1. 受入指導教員について

- (1) あらかじめ指導教員を決めて受験することも、指導教員を決めずに受験することもできます。いずれの場合も興味のある研究室をできるだけ訪問するようにしてください。
入学試験は、指導教員を決めて受験する場合も、決めずに受験する場合も公平に実施されます。
- (2) 医学系研究科所属の教員（指導教員一覧に記載）を指導教員としてあらかじめ決めて受験することができます。各指導教員の受け入れ可能人数は、指導教員一覧にある「専攻分野」毎に「あらかじめ指導教員を決めて受験し入学する者」及び「入学後ローテーションで指導教員が決まる者」を合計して学年毎に「2名以内」となります。
あらかじめ指導教員を決めて受験する者は、出願前に必ず希望する指導教員と連絡を取って、希望する指導教員の研究分野および指導方針が自分の希望と合っていることを確認してください。さらに、希望する指導教員の研究室を訪問し、教員が受入を承諾した場合は、別紙「指導教員受入確認票」の所定の欄に指導教員から受入を承諾する旨の署名をもらい出願書類に同封し、願書の指定された箇所の「志望する研究室」の「有り」にチェックを入れ、専攻分野名と希望する指導教員を記入してください。
なお、協力講座である医科学研究所と分子細胞生物学研究所の配属枠は合わせて「4名以内」という制限があります。希望する場合は入学後に配属を決定することになりますが、希望どおりにならない場合があります。
- (3) 指導教員を決めずに受験する者は、願書の指定された箇所の「志望する研究室」の「無し」にチェックを入れてください。なお、指導教員を決めずに受験する者も、研究指導を受けたいと思う教員がすでにいる場合には出願前に連絡を取っておくようにしてください。
- (4) 出願前の希望指導教員との連絡の機会として、5月20日（土）に「医科学専攻修士課程入学者ガイダンス」を開催しますので、受験を希望する者はできるだけ参加するようにしてください。
詳細は、医学系研究科のホームページをご覧ください。
(<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>)
- (5) 指導教員を決めて受験し合格した者は、入学後は原則として指導教員の変更は認められません。
- (6) 指導教員を決めずに受験した者は、入学後に実施されるローテーション（研究室訪問）の後に指導教員を決めることとなります。ただし、受入人数の制限から第一希望の教員の指導を受けられないことがあります。
- (7) 本専攻では、入学後、決定された研究室から、学内外の他研究室等へ研究指導の委託を行うことは、原則として認められません。

2. 志願理由書について

本専攻を志願した理由を、A4判2枚にまとめ、2枚とも左上に「志願理由書、氏名、ページ数」を記載して、入学願書に同封すること。

3. 試験科目について

入学試験は、筆記試験（一次試験：専門科目及び英語）と口述試験（二次試験）で構成されます。

(1) 英語

読解力や文章構築力を試す問題を 3 題出題し、2 時間で解答する。

(2) 専門科目 I

以下に示す基礎問題から 1 問、分野別問題から 1 問の計 2 問を解答する。

2a. 基礎問題

基礎問題は、生物学に加え、物理学、化学の 3 科目の中から 1 科目を選択して解答する。出題範囲はおおよそ以下の通り。

・生物学

基本的な生命科学の理解をしているかどうかを問う問題。内容としては、Alberts et al, Essential Cell Biology (日本語訳 Essential 細胞生物学)の基本的な部分を想定している。

・物理学

基本的な物理学を理解しているかを問う問題。古典力学、波動、熱力学、電磁気学、現代物理学（20 世紀の物理学）の範囲から出題する。

・化学

基本的な化学を理解しているかを問う問題。物理化学・無機化学・分析化学分野から 5 割程度、有機化学分野から 5 割程度出題する。問題の多くは大学の一般教養で習う程度の基本的なものとする。

2b. 分野別問題

分野別問題は、以下の分野の中から 1 科目を選択して解答する。

・細胞生物学・分子生物学・病理学

基礎問題の生物学とも重複しますが、Alberts et al, Essential Cell Biology (日本語訳 Essential 細胞生物学)のより専門的な部分からも出題することがある。

・生理学・脳科学

分子・細胞レベルを中心とした基礎的な生理学や分子、細胞、回路レベルを中心とした脳科学に関する問題を出題する。

・統計学

生物統計学の基本となる理論を理解しているかを問う問題。

・Chemical Biology

生物学、医学分野の課題を、化学的な発想、技術によって解決する研究分野であるケミカルバイオロジーに関する問題を出題する。具体的には、イメージング、摂動、スクリーニング、オミクス解析、生体機能解析などの原理、利点、問題点やその適用事例を中心に、幅広い分野に対する理解度を問う問題を出題する。

(3) 専門科目 II

専門科目 II の小論文は、与えられたテーマについて 1 時間で書く問題。

(4) 口述試験

これまでの学部時代の活動や、研究に対する熱意などを面接官が判断する。

医科学専攻の教育研究上の目的

東京大学大学院医学系研究科医科学専攻修士課程では、医学系の最先端研究を遂行するために必要な基礎学力を具えており、生命現象のしくみの解明・疾患の克服に寄与し新たな知的価値を創出できる国際的リーダーを養成することを目的とする。

平成30年度医科学専攻修士課程を受験する皆さんへ

医科学専攻修士課程では、入学して最初の3ヶ月間に基礎医学の講義・実習（注①）をおこない、その後、指導教員のもとで研究を開始します。学生は、その成果を修士論文にまとめて当課程を修了することになりますが、修了後はそのまま医学博士課程へ進学することが求められています。

あらかじめ指導教員を決めて入学した学生は、入学後、基礎医学の講義・実習を受けながら希望する指導教員のもとで研究を始めることもできます。指導教員を決めずに入学した学生は、入学後に行なわれるローテーション（注②）を経て、指導教員を決定することになります。

入学後の流れは下記のようになりますので、参考にしてください。

記

[入学から修了するまでの流れ]

1年次

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 4月1日 | 医科学専攻修士課程入学 |
| 初旬 | 入学ガイダンス |
| ～7月上旬 | 前期授業（講義・実習、病院実習等） |
| ～7月下旬 | ローテーション（指導教員を決めないで入学した学生による研究室訪問） |
| 8月下旬 | 指導教員を決めないで入学した学生に対する指導教員の決定（内定） |

10月1日～ 研究室による演習・実習

2年次

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 4月 | 研究室による演習・実習 |
| ～2月上旬 | |
| 7月 | 医学博士課程入試出願 |
| 10月中旬 | 医学博士課程入試受験（医科学専攻修士課程修了込者は筆記試験免除） |
| 2月上旬 | 修士論文発表会 |
| 3月 | 医科学専攻修士課程修了 |

4月 医学博士課程進学

注① 授業は、基礎医学に関する講義と実習、病院実習で構成されています。講義と実習は基礎医学系研究室が担当し、基礎医学の知識を教授します。病院実習は、約2週間にわたり数班に分かれて医学部附属病院を訪れ、実際に臨床の場を見学して医学の重要性を経験するものです。

注② ローテーションとは、指導教員を決めないで入学した学生が、上記①の授業を通して興味を持った研究室を訪問し、実際の研究室の雰囲気、研究内容および指導方針を確認するための期間です。なお、指導教員を決めて入学した学生は、指導教員のもとで研究を開始します。

※この用紙を使用してください。

【受験者用】

医科学専攻修士課程

指 導 教 員 受 入 確 認 票

研究室名	訪問日
	平成29年 月 日 ()

受験者氏名 (自 筆)	(男・女) (生年月日: 年 月 日)
学歴	高等学校卒業から記入してください。 年 月 高等学校卒業
研究歴	
研究上の特記事項	
研究したい研究内容及び希望する指導教員	[研究内容] [希望指導教員]

上記受験者が、平成30年度東京大学大学院医学系研究科医科学修士課程入学試験に合格した場合は、受入を認めます。

受入予定教員氏名: _____

注

1. 本票は、研究室訪問の際に、希望指導教員に提出してください。
2. 受入を承諾した教員は、正本を受験者に渡し、控えとしてコピーを1部取ってください。
3. 受入指導教員が本確認票にサインをできるのは2名以内とします。なお、この2名が仮に入学した場合には、指導教員を決めないで入学した者の受入は出来ませんので、ご注意ください。
4. 本票を提出した受験者は、入学後は原則として指導教員の変更は認められません。

平成30(2018)年度

東京大学大学院医学系研究科〔医科学専攻修士課程〕受入予定指導教員一覧(H29.4現在)

分子細胞生物学

専攻分野	指導教員	研究分野	所属講座
細胞生物学	准教授 金井 克光 e-mail: ykanai@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3336	神経細胞生物学。神経細胞の形態形成の分子機構	細胞生物学・解剖学
生体構造学	教授 吉川 雅英 e-mail: mkikkawa@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3338	鞭毛・繊毛の構造生物学・細胞生物学	細胞生物学・解剖学
細胞構築学	准教授 金井 克光 e-mail: ykanai@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3336	発生学、分子遺伝学、細胞生物学	細胞生物学・解剖学
神経細胞生物学	教授 岡部 繁男 e-mail: okabe@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1928	中枢神経系回路網の形成と維持の分子機構	細胞生物学・解剖学
分子生物学	教授 水島 昇 e-mail: nmizu@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3440	オートファジーの分子機構と生理機能	生化学・分子生物学
細胞情報学	教授 間野 博行 e-mail: hmano@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-0633	がん遺伝子、発がん機構、ゲノミクス	生化学・分子生物学
	特任准教授 河津 正人 e-mail: mkawazu@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-0633	がん遺伝子、発がん機構、ゲノミクス	ゲノム医学寄付講座
代謝生理化学	教授 栗原 裕基 e-mail: kuri-tyk@umin.ac.jp tel: 03-5841-3495	発生・生殖医学、形態形成と器官形成	生化学・分子生物学
分子病態医科学	教授 宮崎 徹 e-mail: tm@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1436	AIM分子を基幹とした様々な疾患の病態生理の解明と治療法開発	疾一分子病態医科学

機能生物学

専攻分野	指導教員	研究分野	所属講座
統合生理学	教授 大木 研一 e-mail: kohki@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3459	大脳皮質視覚野の神経回路と情報処理の研究、2光子Caイメージング	生理学
細胞分子生理学	教授 松崎 政紀 e-mail: mzakim@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3467	前頭前野・意思決定、運動学習回路、BMI	生理学
神経生理学	教授 狩野 方伸 e-mail: mkano-tyk@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3536	シナプス伝達調節、神経回路の機能発達、神経可塑性	生理学
細胞分子薬理学	教授 廣瀬 謙造 e-mail: kenzoh@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-0575	神経細胞機能の構築原理、細胞生理学、薬理学、ケミカルバイオロジー	薬理学
システムズ薬理学	教授 上田 泰己 e-mail: uedah-tyk@umin.ac.jp tel: 03-5841-3415	睡眠・覚醒リズムのシステム生物学・合成生物学	薬理学
構造生理学	教授 河西 春郎 e-mail: hkasai@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1439	大脳シナプスと分泌現象の2光子顕微鏡と光制御法による研究	疾一構造生理学

病 因 ・ 病 理 学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	所 属 講 座
人体病理学・ 病理診断学	教授 深山 正久 e-mail: mfukayama-ky@umin.ac.jp tel: 03-5841-3344	EBウイルスとヒト発癌、肺・胸腺の病理、消化器の病理、病理診断学	病理学
	准教授 牛久 哲男 e-mail: usikut-ky@umin.ac.jp tel: 03-3815-5411 (ext. 30641)	消化管病理学、病理診断学	病理学
	准教授 佐々木 毅 e-mail: takesasa@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-3815-5411 (ext. 37052)	乳腺の病理、泌尿器科の病理、診断病理学	病理部
	准教授 森川 鉄平 e-mail: tmorikawa-ky@umin.ac.jp tel: 03-5841-3348	泌尿器病理学、病理診断学	病理学
	教授 鈴木 洋史 e-mail: suzukihi-ky@umin.ac.jp tel: 03-5800-8717	臨床薬理動態学	薬剤部
分子病理学	教授 宮園 浩平 e-mail: miyazono-ind@umin.ac.jp tel: 03-5841-3345	TGF- β のシグナル伝達に関する研究	病理学
	准教授 鯉沼 代造 e-mail: koinuma@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3356	シグナル伝達機構研究、トランスクリプトーム解析	病理学
微生物学	教授 畠山 昌則 e-mail: mhata@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3632	胃癌を中心とする消化器癌発症機構とその制御、ピロリ菌感染発癌	微生物学
感染制御学	教授 森屋 恭爾 e-mail: moriya-ky@umin.ac.jp tel: 03-5800-8720	肝炎ウイルスの病原性、日和見感染症の病態	感染制御学
免疫学	教授 高柳 広 e-mail: takayana@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3375	自己免疫疾患の病態、および骨免疫学に関する研究	免疫学
	准教授 新田 剛 e-mail: nit-im@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3377	T細胞の分化と機能の制御機構	免疫学
	特任准教授 岡本 一男 e-mail: nit-im@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3378	骨と免疫の相互作用に関する研究	骨免疫学寄付講座
動物資源学	教授 饗場 篤 e-mail: aiba@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3638	神経回路形成の分子遺伝学、マウス発生工学、個体レベルでのエネルギー制御の研究	疾-動物資源学
	准教授 中尾 和貴 e-mail: k_nakao@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1860	遺伝子操作マウス胚を用いた系統保存法の研究	疾-動物資源学
	准教授 葛西 秀俊 e-mail: kassai@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-0702	発生工学によるマウスモデルの開発と分子遺伝学的解析	疾-動物資源学

生 体 物 理 医 学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	所 属 講 座
放射線分子医学	教授 宮川 清 e-mail: miyag-ky@umin.ac.jp tel: 03-5841-3503	DNA修復を標的とした癌治療の研究	疾-放射線分子医学
システム生理学	准教授 山本 希美子 e-mail: k-yamamoto@umin.ac.jp tel: 03-5841-3564	メカノバイオロジー、バイオメカニクス、循環生理学	医用生体工学
生体機能制御学			
生体情報学	教授 浦野 泰照 e-mail: uranokun@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3601	蛍光・増感・発光プローブ開発 生細胞・動物個体イメージング in vivoがんイメージング・治療	医用生体工学 (薬学系研究科)

医療材料・機器工学	教授 東 隆 e-mail: azuma@fel.t.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-6289	超音波イメージング、超音波治療、超音波ドラッグデリバリー	疾－医療材料・機器工学
	教授 牛田 多加志 e-mail: ushida@mech.t.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-8080	再生医療工学, 細胞バイオメカニクス	工学系研究科
	准教授 伊藤 大知 e-mail: taichi@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1425	医用材料・ハイドロゲル・微粒子・組織工学・ドラッグデリバリー	疾－医療材料・機器工学

脳 神 経 医 学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	所 属 講 座
神 経 病 理 学	教授 岩坪 威 e-mail: iwatsubo@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-4877	アルツハイマー病、パーキンソン病の神経病理学と分子病態解析	基礎神経医学
神 経 生 化 学	教授 尾藤 晴彦 e-mail: hbito@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3559	長期記憶・可塑性の分子機構、ニューロンのシグナル伝達	基礎神経医学
こころの発達医学	准教授 金生 由紀子 e-mail: kano-tyk@umin.ac.jp tel: 03-5800-8664	児童・思春期精神医学、発達障害医学	統合脳医学
神 経 生 物 学	教授 廣瀬 謙造 e-mail: kenzoh@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-0575	神経細胞機能の構築原理、細胞生理学、薬理学。ケミカルバイオロジー	基礎神経医学

社 会 医 学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	所 属 講 座
健康環境医工学	准教授 大迫 誠一郎 e-mail: ohsako@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1432	環境汚染化学物質による生殖毒性・発癌メカニズム	疾－健康環境医工学
医 療 情 報 学	教授 大江 和彦 e-mail: ohe-office@adm.h.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5800-6427	医療で発生する情報の取扱い、標準化、次世代電子カルテ、医療情報の利用基盤研究開発、ゲノム医療情報利用環境の研究	法医学・医療情報経済学
	准教授 今井 健 e-mail: imai@m.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-3454	医用人工知能、医療データ解析、次世代電子カルテ、医療情報の標準化	疾－医工情報学

臨 床 医 工 学

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	所 属 講 座
臨 床 医 工 学	教授 鄭 雄一 e-mail: tei@bioeng.t.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-8843	骨軟骨生物学・再生医学、バイオマテリアル工学	疾－臨床医工学 (工学系研究科)
	准教授 宮田 完二郎 e-mail: miyata@bmw.t.u-tokyo.ac.jp tel: 03-5841-1701	ドラッグ・核酸デリバリー、バイオマテリアル	マテリアル機能 (工学系研究科)

疾 － 疾患生命工学センター

この指導教員一覧については、今後、内容が変更されることがある。更新後の情報については、本研究科Webサイト内のホーム>入進学希望の方へ>大学院医学系研究科 のページ <http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html> に掲載するので、そちらを確認すること。

協力講座（医科学研究所、分子細胞生物学研究所）

専攻分野	指 導 教 員	研 究 分 野	所 属 講 座
分 子 生 物 学	特任教授 渡邊 すみ子	血液、網膜の幹細胞からの発生機構とその再生	科－再生基礎医科学
細 胞 情 報 学	教 授 井上 純一郎	細胞内シグナル伝達による細胞の増殖・分化制御	科－分子発癌
人 体 病 理 学 ・ 病 理 診 断 学	教 授 村上 善則	癌化の分子機構と癌抑制遺伝子の研究	科－人癌病因遺伝子
分 子 病 理 学	教 授 古川 洋一	癌の発生、進展のメカニズムの解明、ゲノム解析	科－先端医療研究センター
	教 授 藤堂 具紀	遺伝子組換えウイルスを用いたがん治療開発、脳腫瘍治療開発	科－先端医療研究センター
	准教授 稲生 靖	がんのウイルス療法	科－先端医療研究センター
	准教授 ベアテ ハイジッヒ	幹細胞治療及び再生医療基盤としての血管新生機構解析	科－幹細胞治療研究センター
微 生 物 学	教 授 甲斐 知恵子	RNAウイルスの病原性発現の分子機構	科－実験動物研究施設
	教 授 俣野 哲朗	エイズ発症機構の解析およびワクチン開発	科－エイズワクチン開発
	准教授 三室 仁美	病原細菌学、粘膜病原細菌の感染成立と宿主応答の研究	科－感染症国際研究センター
感 染 制 御 学	教 授 河岡 義裕	インフルエンザとエボラウイルスの分子生物学と病原性	科－ウイルス感染
	教 授 川口 寧	ヘルペスウイルスの病原性発現機構の研究	科－ウイルス病態制御
免 疫 学	教 授 三宅 健介	自然免疫における病原体認識機構、Toll様レセプター	科－感染遺伝学
	教 授 清野 宏	粘膜免疫と粘膜ワクチン	科－炎症免疫学
	准教授 中江 進	アレルギー疾患の発症機序の解明	科－システムズ・ハイオロジー研究
神 経 生 化 学	教 授 真鍋 俊也	中枢シナプスの可塑性、学習・記憶、情動の分子機構	科－神経ネットワーク

科 － 医科学研究所 細 － 分子細胞生物学研究所

この指導教員一覧については、今後、内容が変更されることがある。更新後の情報については、本研究科Webサイト内のホーム>入進学希望の方へ>大学院医学系研究科 のページ <http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html> に掲載するので、そちらを確認すること。

入学願書作成時の注意事項について（医科学専攻 修士課程）

※ 募集要項をよく読んで作成すること。

	対 象 欄	記 入 例 ・ 注意事項など
願書 (表面)	志望専攻名 志望専攻分野 志望指導教員	別添の「指導教員一覧」を参照の上、記入すること。
	履歴	大学入学以降の履歴を記入すること。(短期大学等から大学へ編入している場合には、履歴欄の一番下に短期大学等を記入すること。) 諸外国の学校教育制度により修了の者は二重枠欄「Educational background in Foreign countries」に記入すること。
	職歴	欄内に記入しきれない場合、欄内には「別紙参照」と記入の上、全ての履歴を記入した別紙(A4判用紙)を添付のこと 職歴は原則「常勤」での勤務を記入すること。 *医師については、研修は、“(研修)”、非常勤医員としての勤務については、“(非常勤)”と記載すること。
願書 (裏面)	E-mail	提出書類に不備があった場合の連絡は原則 E-mail または携帯に連絡することになるので、必ず記入すること。
	連絡場所(緊急時)	「現住所」欄と同様の場合は「 <input type="checkbox"/> 現住所と同じ」に✓印を付けること。
	学生証・研究生証・ 教職員番号	本学の学生及び教職員のみ記入すること。
	健康診断	本学の学生及び教職員のみ記入すること。
写真票 受験票	志望専攻名 志望専攻分野 志望指導教員	別添の「指導教員一覧」を参照の上、記入すること。
	氏名	「写真票Ⅱ(兼学生証用台紙)」の「氏名」は入学した場合の学生証作成に使用するので、楷書体で記入すること。
	C票貼付台紙	上下のシールを剥がしてC票(振込金受付証明書)を貼り付けること。
志願理由書	医科学専攻を志願した理由を、A4判2枚にまとめ、2枚とも左上に「志願理由書、氏名、ページ数」を記載して、入学願書に同封すること。	
日本語能力証明書 (留学生のみ)	日本語検定試験等を受験している留学生については、合格証明書のコピー提出に代えることができる。	
改姓・改名の証明書 (該当者のみ)	提出する証明書が旧姓・旧名により発行されている者は、改姓・改名の事実を証明する書類を提出すること(戸籍抄本、婚姻届受理証明書等)。コピー不可。	
封筒への敬称記入について	封筒への出願者本人の宛名の下に敬称を記入する場合、「様」と記入すること。(「行・宛」等は記入しないこと。)	

その他

- 出願期間(平成29年7月7日(金)消印有効)を過ぎた場合については、理由の如何に関わらず一切受け付けることは出来ないので、出身学校等へ証明書等の発行依頼を早めに行うこと。万一、証明書の発行が間に合わない場合には、必ず事前に医学系研究科大学院係(電話03-5841-3309)へ連絡すること。
- 入学試験の試験時間については、受験票とともに郵送される「受験者心得」により知らせるが、例年下記のとおり実施している。
なお、変更される可能性があるため、必ず「受験者心得」で確認すること。

医科学専攻

○外国語：午前9時30分～11時30分 ○専門科目：午後1時～4時30分

○ 医学系研究科の過去問題の購入方法について

東京大学大学院医学系研究科の大学院過去入試問題は、東京医学会にて取り扱っています。

I 過去問題一覧 過去問題の種類、価格など

II 購入方法について

- ① 郵送をご希望の場合 — 代金の振り込み方法など
- ② 東京医学会に來室して購入する場合 — 東京医学会の地図・販売時間など

I 過去問題一覧

医学系研究科 過去問題一覧（問題集は1冊から購入できます）

課 程	入 学 年 度	価 格
医学博士	2010年度～2017年度	1,000円/1年
健康科学・看護学専攻博士後期（2月実施）	2009年度～2016年度	300円/1年
健康科学・看護学専攻博士後期（8月実施）	2010年度～2017年度	300円/1年
医科学専攻修士	2010年度～2017年度	300円/1年
健康科学・看護学専攻修士 ※	2010年度～2017年度	1,000円/1年
国際保健学専攻修士	2010年度～2017年度	400円/1年
健康科学・看護学専攻修士（保健師コース・看護師コース）	2010年度～2017年度	300円/1年
公共健康医学専攻（専門職学位課程）	2010年度～2017年度	1,000円/1年

※保健師教育コース、助産師教育コースの受験を志望する場合はこちらを参照すること

II 購入方法について

① 東京医学会に來室して購入する場合

販売元	一般財団法人 東京医学会 [東京大学医学部総合中央館地下1階] ※下記地図参照 Tel: 03-5841-3681 Fax: 03-3816-3287 E-mail: igakukai@m.u-tokyo.ac.jp HP: http://square.umin.ac.jp/igakukai/02toppage/toppage.html
販売時間	10:00～12:00、12:30～17:00（平日：図書館閉館日を除く） ※土曜・日祝日は閉室



